



連絡事項

- 大レポート回収は講義終わりに
- 試験
 - 日時 9月17日(月)3限目
 - 場所 掲示を見ること
 - 内容 講義中に行った演習問題から3~4問
 - 備考 持込なし、携帯電話は電源オフ
 - 講義資料について：
ときどき間違いがあるので注意

成績評価方法

- 出席点
 - 最大10点(9回未満は配点なし)
- 小レポート
 - 最大10点
- 大レポート
 - 最大20点
- 期末試験
 - 最大60点

出席・レポート提出状態

- 出席状態
 - 13回中9回未満の者 29名
 - ペナルティ：出席点(10×出席率点)なし
- 小レポート提出状態
 - 未提出者 21名
 - ペナルティ：小レポート配点(最大10点)なし
- 9回未満出席 + 小レポート未提出 :16名
 - 出席および提出状態のリストをチェックせよ

今日の講義内容

- これまでの復習
この講義で重要だったこと
- 反省と計算の理論Ⅱについて
文脈自由文法およびPDA
チューリングマシンと計算可能性
- 大レポート解答
回収後、ざっと簡単に

これまでの復習

- 何を学んでほしかったか
 - 離散計算モデル
 - 状態遷移
 - オートマトンと正則表現の等価性
 - F Aの性質とそれを利用した操作

心残り

✎ 文脈自由文法、PDA

- コンパイラ、自然言語処理に必須
- 正規表現より複雑な記述ができる言語クラス
- 計算の理論IIで触れる

計算の理論II

✎ 講義資料

「オートマトンと計算可能性」

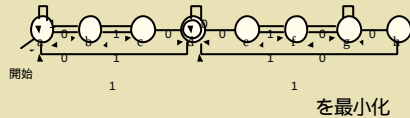
有川節夫・宮野悟 著

培風館 ISBN4-563-00789-7

教科書として指定するかどうかは検討中
文脈自由文法を簡単にやった後、
チューリングマシンと計算可能性について学ぶ。

前回のミニテストについて

✎ 演習問題 3.25



解答についてはのちほどHPに掲示
(忘れてた)

大レポート回収

✎ 回収後簡単に解答 (別プリント)

✎ 出席チェック代わり

- どうしても提出できなかったものはその旨言いにくること。